



SECOND HARVEST NAGOYA PRESS

2013.9.15

NO.3

SECOND HARVEST NAGOYA
NPO法人セカンドハーベスト名古屋

発行元 NPO法人セカンドハーベスト名古屋
〒461-0018 名古屋市長区主税町3丁目33マリア館1F
TEL052-932-2828 FAX052-982-6183
E-mail:info@2h-nagoya.org URL:http://www.2h-nagoya.org/

編集/印刷 橋本写植



人と食べものをつなぐ
セカンドハーベスト名古屋

セカンドハーベスト名古屋理事長挨拶



私は、セカンドハーベスト名古屋が様々な方達の支援を受けて、活動の領域を拡げ続けて来ている事をとても誇りに思っております。

まず最初に、現在私達は東海地方の各地で他のNPO団体や社会福祉施設と協力しています。名古屋の他に浜松、三島、津、そして大垣です。そして、9月からは知多半島地域の人達を支援する活動を始めます。8月末に常滑市に会員制スーパーマーケットが開店しました。

この店は日常業務のかたわら、毎日発生する余剰のパンや青果物を社会福祉団体に提供します。セカンドハーベスト名古屋はそれを受けて配布する活動を組織すると共に、この店以外から提供される食品も一緒に配る予定です。

2番目に、これまで主力だった加工食品の他に冷凍食品やサラダ等の冷蔵食品の扱いを増やそうとしています。

3番目に、私達は生活が苦しい外国人の方達を一層支援する事を決めました。彼等の実情をもっと知るためにこの8月から400件を目標に生活実態調査

を始めました。この調査結果にもとづいて、もっと内容の充実した配布計画を立てようとしています。

4番目に、「セカンドハーベスト名古屋を支える会」が組織されました。この会は私どものNPOの運営を資金面から支援するのが目的で、その他に運営を援ける様々な計画を立てています。

5番目に、個人の方たちからの食品の寄附が増えてきています。去年は20件くらいでしたが、今年はずでに1月から6月迄に56件になりました。最近では、ある農家が750kgものお米を下さいました。

いずれにせよ、食べ物を必要としている人達を援けるために多くの人達が協力して下さっている事に心から感謝申し上げます。

2013年9月 NPO法人セカンドハーベスト名古屋

理事長 ジョン・シーランド

セカンドハーベスト名古屋とは？

食べられるにも関わらず廃棄される食品や個人からの寄贈食品の提供を受け、それらを児童養護施設や母子支援施設、路上生活者を支援している団体を通じて、必要とする人々にその食品を配布するフードバンク活動を行っています。

CONTENS

理事長挨拶……………	1p	特集！ささしま共生会……………	3p
活動紹介……………	2p	2013年度実施事業……………	4p



▲ボランティアとパートナー団体の方が仕分けを行っている様子

名古屋事務所での活動紹介

セカンドハーベスト名古屋(以下2HN)は毎週月・火・木・金曜日、ある野菜の仲卸(卸売業者からセリによって大量に仕入れた品物を小売店等へ細かい単位に分けて販売する業種)の企業様から食品を寄付いただいております。

寄付いただくのは「まがったキュウリ」「表面が少し黒いニンジン」「一部がへこんだリンゴ」など、品質に問題が無いものの流通させることができない野菜や果物です。

ボランティアの方に車で取りに行っていたき、事務所前にて仕分けを行った後、その日引き取りにいらした団体へお渡しします。その際、倉庫の中にある調味料やジュース、惣菜や冷凍食品も一緒にお渡ししています。

各拠点での活動紹介

名古屋市東区にある事務所の他に、岐阜県大垣市、三重県津市、静岡浜松市、三島市に拠点を設けて、企業・個人の方から直接食品を届けていただき配布しています。

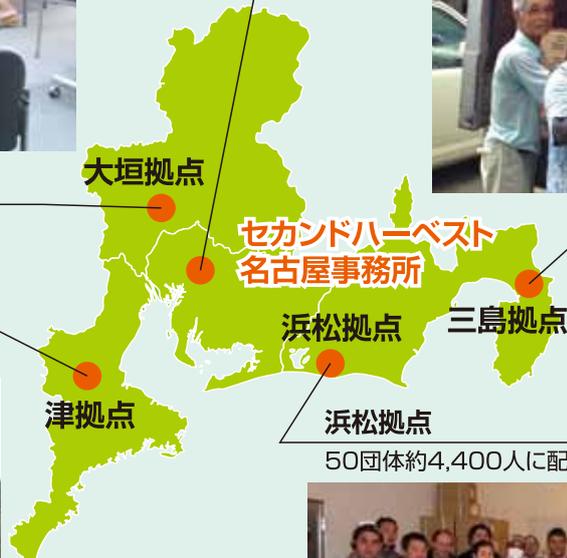


大垣拠点

約100人に配布

津拠点

26団体約1,700人に配布。



セカンドハーベスト名古屋事務所

152団体約8,000人に配布。



三島拠点

7団体約600人に配布

浜松拠点

50団体約4,400人に配布



2HNは、地域で発生した食品ロスを地域の人の手により、地域の必要とする方々へ届ける「フードバンクの地産地消」を目指しています。

特集!!「ささしま共生会」

ささしま共生会 名古屋市中区新栄1-28-23 レインボー第2瓦町1F
TEL/FAX052-718-2048

名古屋で野宿生活者への支援活動を行っている団体と言えば、「ささしま共生会(以下、共生会)」です。2001年にNPO法人として設立するまでは、母体となる団体が20年以上にわたり炊き出し活動・野宿生活者の自立を支援する活動を続けてこられました。NPO法人化された現在は、衣食住の提供、医療・生活相談、就労機会の提供などを通して、野宿生活者の「自立」のための協力・支援活動をされています。

今回は2HNからお渡しした食品が共生会でどのように使われているのかを、共生会の主な活動ごとにご紹介します。

<炊き出し>

毎週月・木曜日、第五土曜日に若宮大通公園にて野宿生活者などへ食事を無料で提供しています。整理券を配布してから配食までの間、医師・看護師による健康相談、学生団体によるレクリエーションなども行っています。2HNからの食品は炊き出しで提供される食事にはもちろんのこと、料理できる方へはお土産としてお渡ししています。

<デイサービス“ひだまり”>

「ひだまり」は野宿生活をしている人のためのデイケア施設です。シャワー・洗濯・健康相談など様々な機能をもっており、コーヒーやお茶を飲みながら休憩することができます。また2HNからの食材を使い、利用者の方が自分で料理を作ることもできます。スタッフの方は「自分たちで調理、配膳、後片付けをしていることから、単に胃袋を満たすための食事ではなく、大勢で食卓を囲む団らんになっています。」と仰っていました。

<巡回>

駅・公園・橋の下で野宿生活をされている方を巡回し、健康状態のチェックや安否確認を行います。その際、2HNからの水や非常食などをお渡しします。

<自立支援アパート“三ツ木荘”>

三ツ木荘では野宿状態から一人で暮らすための練習をします。週1回入居者同士のお茶会を開いており、そこで2HNからのお茶やお菓子などが使われています。



清潔で設備が整った炊き出し専用の調理場

<居宅訪問>

生活保護を受けるなどして一人暮らしを始めた方のお宅へ訪問します。野宿状態から脱出して一人暮らしを始めると、どうしても孤独になりがちです。そこで2HNからの調味料やジュースなどを持って健康状態のチェックや安否確認のため訪問します。

■食品支援が信頼関係をきずくきっかけに

「野宿者支援をする上で大切だと思うことは、まず当事者の意思を尊重すること、そして時には当事者の意思を変えることです。

彼らの中には『自分には家族も友人もない。このまま早く死にたい』そう考える人が少なからずいます。

彼の“死にたい”という意思を“もう少し生きてもいいかな”という意思に“変える”ことも支援の一つであると考え、そのために時間をかけて一人一人と関係性を作っていく事が必要だと思います。」とスタッフの方が仰っていました。

今回ご紹介したように共生会は20年以上の歴史のある団体であり、野宿生活をしている方々へ様々な支援を行っていらっしゃいます。その活動に2HNからの食品を積極的に使ってくださることをうれしく感じました。

このようにフードバンク活動は食品を提供していただく企業・個人はもちろんのこと、食品を使っただけ施設・団体のご協力によって成り立っていることを改めて実感しました。(取材/事務局:山内大輔)

ソーシャルメディアでの広報



2HNのフェイスブックページ、ブログにて普段の活動の様子を写真と一緒にご紹介しています。是非ご覧ください

フェイスブックページ(<https://www.facebook.com/2hnagoya>)

ブログ(<http://2h-nagoya.blogspot.jp/>)

東海地方での食のセーフティーネット構築事業

2013年2HNでは「東海地方での食のセーフティーネット構築事業」を実施しております。この事業の大きな特徴に「外国人生活実態調査」を行うことが挙げられます。

2012年度、企業・個人の方から寄贈いただいた622トンの食品のうち約6割、336トン外国人支援団体を通じて、ブラジル人・フィリピン人・ペルー人などの方々へお届けしました。東海地方に住む約34万人の外国人のうち1～3割の方が生活に困っていると言われております。しかし、これまであまり調査されてこなかったため、実態はわかっていません。

そこで、これまで食品を配布していた繋がりを用いて、東海地方に住む外国人(主にブラジル人、フィリピン人・ペルー人など)の収入・支出・今一番困っていることなどを調査することにより生活実態を明らかにします。

今回の調査によってフードバンクの知名度があがることで、これまで食品を受け取れていなかった方々へも食品が届けられるネットワークの構築も目指します。

また、生活に困っている方への食糧支援や各種支援団体へ繋げるために、ポルトガル語・スペイン



▲食品展示会にてブース出展した際の様子

語に対応した相談窓口を設置します。

日本人生活困窮者へ対しては相談電話事業を実施している団体と連携し、食べるのに困っている方へ直接食料をお届けする活動を行います。

以上の活動を通じ2013年度2HNでは、「東海地方での食のセーフティーネット構築」を目指しています。

認定NPO法人へのご協力とご支援のお願い

認定NPO法人は、NPO法人の中でも運営組織及び事業活動が適正で、公益を増進し、一定の基準をみたして所轄庁の認定を受けたNPO法人のことをいいます。認定NPO法人になるとその法人に寄付した個人・法人が税法上優遇されるメリットがあります。

当団体は認定NPO法人を目指しています。条件として2年間、毎年少なくとも100名の方から3,000円以上の寄付を集めなければなりません。ご支援とご協力よろしくお願い致します。

銀行振込

口座：三菱東京UFJ銀行栄町支店 口座番号：普通 0015287
口座名義：特定非営利活動法人セカンドハーベスト名古屋

ゆうちょ銀行からの振込

記号番号：12140-38057751

支店名：二一八支店(ニイチハチ) 種類：普通 口座番号：3805775
口座名義：特定非営利活動法人セカンドハーベスト名古屋